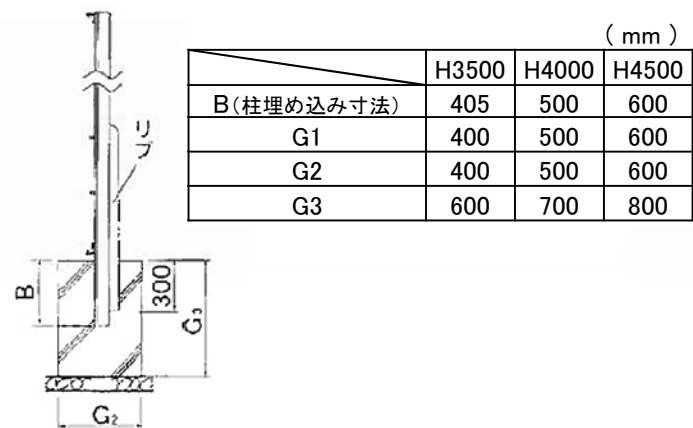


## ① 柱の位置を決め、基礎を設置します

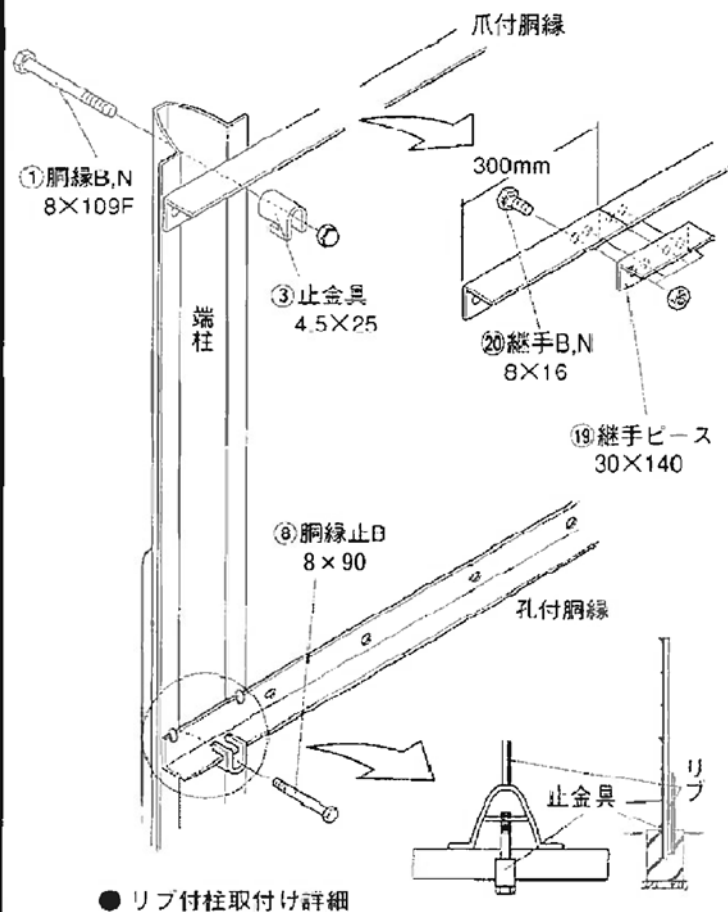
- 柱間隔は柱芯々2,000mmピッチで割付けてください。
- 通り芯を正確に出してください。



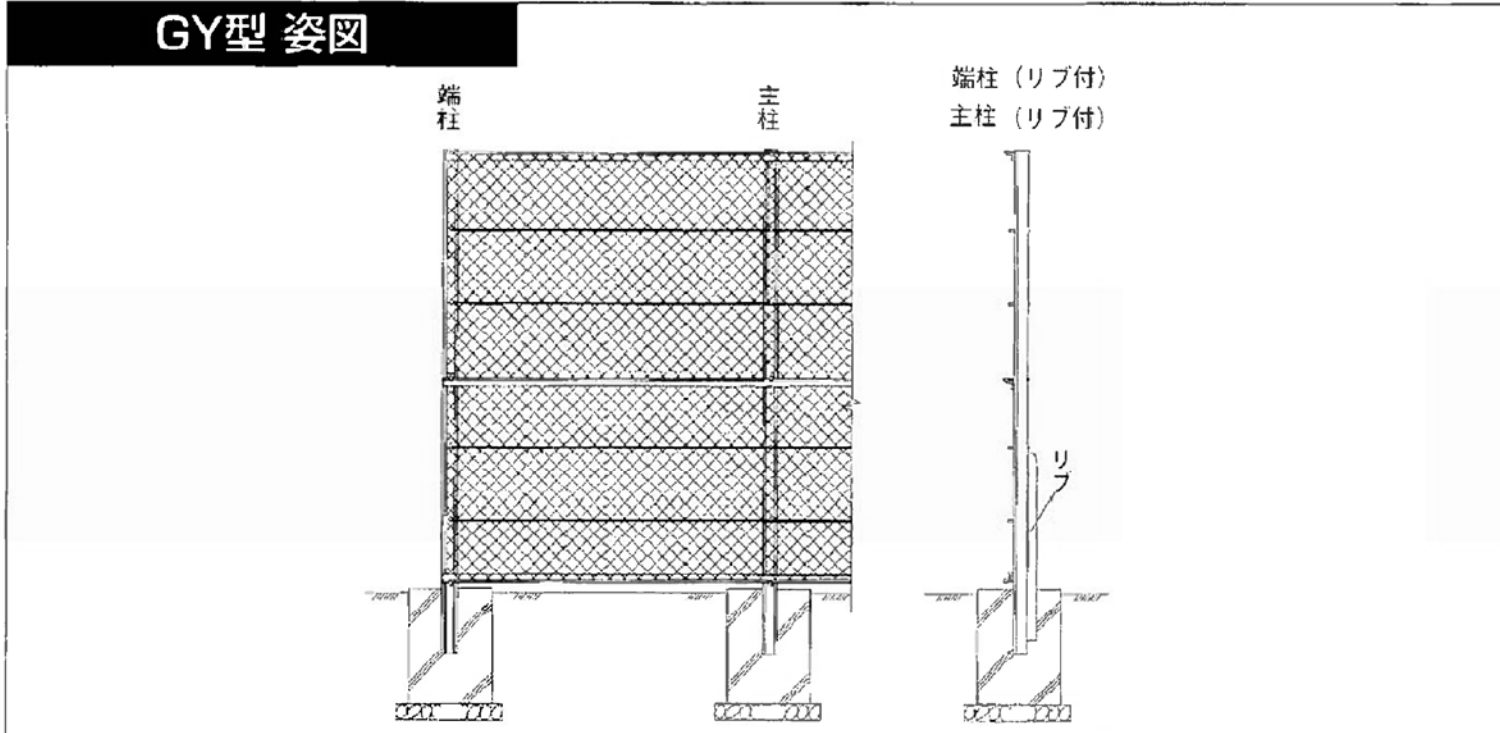
## ② 柱を建てます

## ③ 胴縁を柱に取り付けます

- 継手ピースで胴縁をつなぎます。

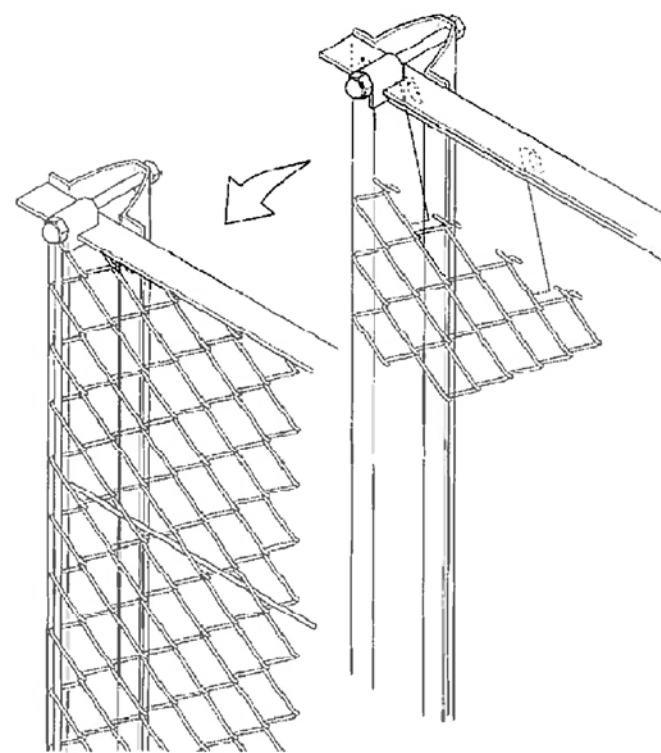


## GY型 姿図



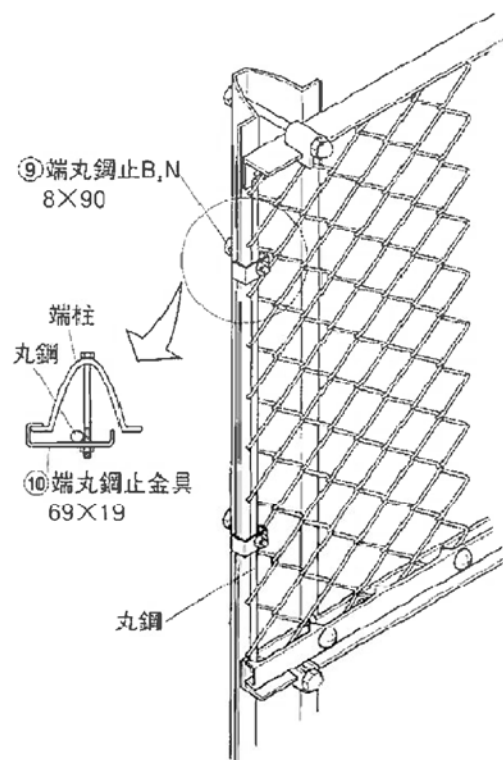
## ④ 金網をひろげ両端をナックルし、筒状に巻きます。

- 上胴縁にそって巻き戻し、胴縁の爪に仮掛けしておきます。



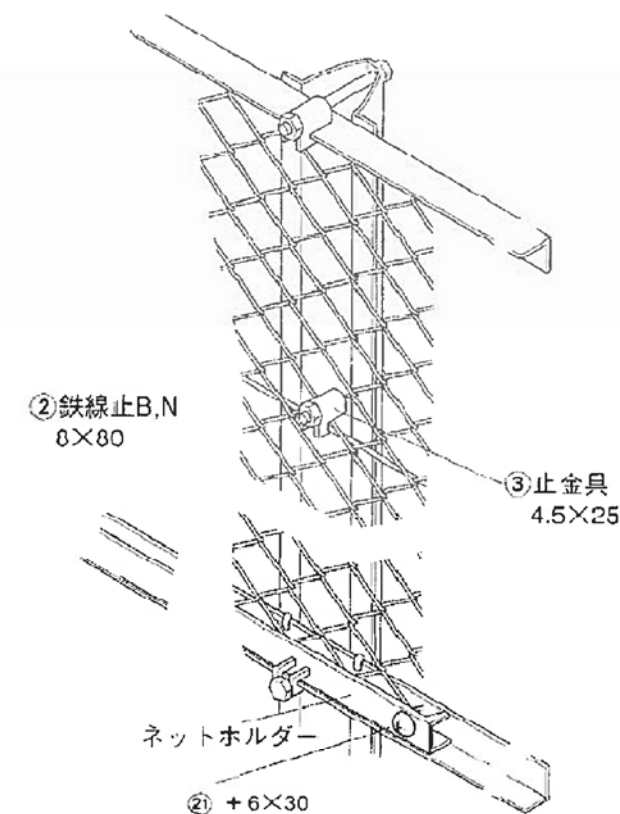
## ⑤ 金網に丸鋼と鉄線を差し込み胴縁に取り付けます

## ⑥ 端柱に丸鋼を止めます

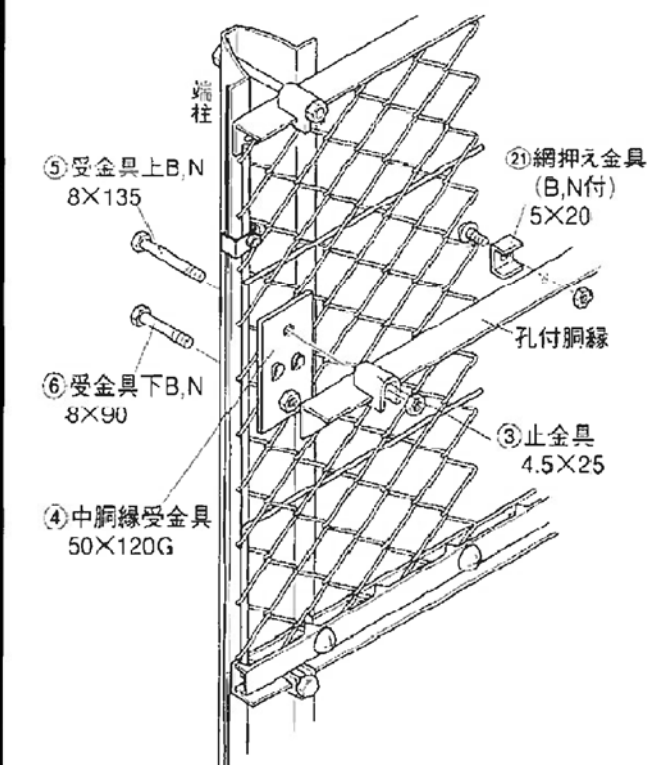


## ⑦ 鉄線を止めます

- 鉄線の端部は丸鋼に巻き付けてください。
- 上胴縁のツメに鉄線を引掛け、下胴縁にネットホルダーで止めます。



## ⑧ 中胴縁を取付けます



品名		寸法・記号	形状	H3500	H4000	H4500	
主柱 (リブ付)	① 胴縁BN	8x109F		1	1	1	
	② 鉄線止BN	8x80		4	3	4	
	③ 止金具	4.5x25		7	7	9	
	④ 中胴縁受金具	50x120G		-	1	1	
	⑤ 受金具上BN	8x135		-	1	1	
	⑥ 受金具下BN	8x90		-	1	1	
	⑦ 鉄線止B	8x50		1	1	2	
	⑧ 胴縁止B	8x90		1	1	1	
端柱 (リブ付)	① 胴縁BN	8x109F		1	1	1	
	⑨ 端丸鋼止BN	8x90		4	5	7	
	⑩ 端丸鋼止金具	69x19		6	8	10	
	③ 止金具	4.5x25		2	3	3	
	④ 中胴縁受金具	50x120G		-	1	1	
	⑤ 受金具上BN	8x135		-	1	1	
	⑥ 受金具下BN	8x90		-	1	1	
	⑪ 端丸鋼止B	8x50		2	3	3	
	⑧ 胴縁止B	8x90		1	1	1	
	⑫ 丸鋼φ6			1	2	2	
	隅柱 (リブ付)	⑬ 胴縁BN	8x80		1	1	1
		⑭ 丸鋼止金具	10x26		6	8	10
⑮ 丸鋼止BN		8x90		4	5	7	
⑯ 丸鋼止B		8x50		2	3	3	
④ 中胴縁受金具		50x120G		-	1	1	
⑤ 受金具上BN		8x135		-	1	1	
⑥ 受金具下BN		8x90		-	1	1	
⑧ 胴縁止B		8x90		1	1	1	
⑰ コーナープレート		92x60		2	3	3	
コーナープレートBN		8x20		4	6	6	
⑫ 丸鋼φ6				2	4	4	
爪付胴縁		⑱ 継手ピース	30x140		1	1	1
	⑳ 継手BN	8x16		4	4	4	
孔付胴縁	⑱ 継手ピース	30x140		1	1	1	
	⑳ 継手BN	8x16		4	4	4	
	㉑ ネット押え金具(BN付)	5x20		14	14	14	
孔付胴縁	⑱ 継手ピース	30x140		1	1	1	
	⑳ 継手BN	8x16		4	4	4	
	㉑ ネットホルダーBN	6x30		14	14	14	



注意

## ●施工注意点

①商品を施工現場に仮置きする場合は地面に直接置くことを避け、台木等の上に置いてください。又、荷崩れ等無いように十分な養生を行ってください。

②基礎打設又は基礎ブロック据付けは所定のやり方に従い、正しい位置に水平・垂直及び通り芯に十分注意して行ってください。基礎上端は地面より30mm上げるのを標準とし、基礎上端が極度に地面より上がったり埋まったりしないようにしてください。

③施工現場にて部材の加工を行った場合は、必ず切断面、突起部分等の補修・手入れを行ってください。

④組立完了後ボルトナット類の増し締めを行ってください。増し締めを行わない場合ボルトの緩みにより部品の脱落、部材の破損等が発生する可能性があります。

⑤塗装面に傷、剥離等が生じた場合は弊社指定の補修塗料で補修を行ってください。(スチール商品)

## ●取扱い注意点

①標準フェンスに他の付属物(防風ネット、目隠し板等)を取付ける場合は、必ず弊社までお問合せの上、強度の確認をしてください。お問い合わせの無い場合、破損等に対する責任を問いかねます。